

<p>公益財団法人8020推進財団 平成27年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録</p>
<p>1. 事業名：老人保健施設及び健康支援センターにおける口腔管理実態調査と啓発活動</p>
<p>2. 申請者名：トヨタ記念病院 歯科口腔外科 町田純一郎</p>
<p>3. 実施組織：トヨタ記念病院 歯科口腔外科 トヨタ記念病院 感染症科 豊田加茂歯科医師会</p>
<p>4. 事業の概要：本事業では、当科がこれまでに歯科保健活動助成金を受け行った成果をさまざまな形で発信し社会に幅広く還元するとともに、活動を併設施設に拡大することを目的とした。この中で3つの論文発表（トヨタ医報2つ、日本クリニカルパス学会誌1つ）と1つの学会発表（第16回日本クリニカルパス学会総会）を行った。さらにトヨタ記念病院内の活動として、勉強会を計3回開催し、口腔管理の重要性や口腔機能について患者や病院職員に幅広く提供する事業を行った。</p>
<p>5. 事業の内容 3つの論文発表と1つの学会報告を行った。</p> <p>(1) 錦織真希、他；老人保健施設における口腔ケアの有効性に関する臨床研究。 トヨタ医報. 25；35－45, 2015. 平成24年度までに歯科保健活動助成金を受けて行った臨床研究をまとめたものである。この中では、老人保健施設入所者50名を対象にして専門的口腔ケアを実施したことで、歯周ポケット周囲の易感染域を理解し意識的な機械的歯面清掃の重要性や義歯使用者にたいしては常にカンジダを意識した口腔ケアの必要性を考察した。</p> <p>(2) 梅澤志穂美、他；当院における口腔ケアの現状。 トヨタ医報. 25；29－39, 2015. この論文では、当院の口腔ケアシステムの改善点を見出す目的で現状を整理し検討した。そこでは3つの問題点を提言している。1) 口腔状態スクリーニングにおいて歯や義歯の状態を評価できるように改善が必要である。2) 口腔ケア評価表は、全国的に標準化されていない。そこで当院では評価表を独自開発し、現在は結果を点数化した口腔ケア評価表 Ver.2 を使用している。今後は問題点を再評価し改善する必要がある。3) 口腔ケアを必要とする患者数は急増しており、今後、効率的で効果的な口腔ケアの方法を開発することが望まれる。</p> <p>(3) 町田純一郎、他；クリニカルパスに組み入れた専門的口腔ケアの効果と課題。 日本クリニカルパス学会誌. 17(3)；346－349, 2015. この論文では、トヨタ記念病院においてクリニカルパスに組み入れた口腔ケアの現状や改善点、問題点について紹介するとともに、2つの臨床研究の結果から具体的なアウトカムについて報告した。</p> <p>(4) 第16回クリニカルパス学会学術総会（毎熊彩季）クリニカルパスは、医療の質管理やチーム医療に欠くことのできないツールとして位置づけられ、当院の口腔管理もクリニカルパスの中に積極的に組み入れられている。われわれは「トヨタ記念病院における包括的口腔ケアシステムの検証」として学会発表を行い、第16回日本クリニカルパス学会優秀賞を受賞した。これは昨年度第15回学術集会上で2年連続の受賞である。</p>
<p>6. 実施後の評価（今後の課題）</p> <p>本年度は、本事業のこれまでの成果を踏襲しつつさまざまな形で発信し、社会に還元する活動を行えた。トヨタ医報には2つの論文を発表し、老人保健施設での活動、臨床研究や口腔ケアの効果を報告した。このことで、口腔ケアに関する問い合わせは増加し、地域医療にも貢献できたと考える。またクリニカルパス学会誌では、口腔ケアの問題点を明らかにし、その解決法の1つとしてクリニカルパスの有用性を論じることができた。その取り組みが評価され、2年連続で優秀賞を受賞した意義は大きいと考えている。今後も医科やコメディカルを中心とした学会で、口腔管理の重要性を積極的に報告していきたい。さらに昨年に引き続きトヨタ記念病院内の活動として、糖尿病科と合同で勉強会を開催し、口腔管理の重要性や口腔機能について患者や病院職員に幅広く提供する事業を行った。一方で認知症患者に対する活動は、人為不足のため必ずしも予定通り進まなかったことは、来年度以降の課題であると考えている。</p>